

市政ニュース

2013年10月5日
日本共産党玉野市議団 議会報告
Tel31-7337 FAX31-7338
玉野市宇野3-24-11

玉野市9月定例市議会が終わる

住民からの直接請求による 「議員定数6人削減し、定数15人とする削減議案」は否決！

9月5日から始まった9月議会は、24日最終日に議員定数削減議案が追加上程されたため、会期を27日まで延長し、閉会しました。

一般会計補正予算など18議案を審査し、17議案を可決。「議員定数条例の改正（議員定数削減）議案」を賛成2名、反対18名で否決しました。また、市民団体から提出された「消費税増税の中止を求めることを決議し政府へ意見書提出を求める請願書」は、共産党市議団だけが採択を求めましたが、他の会派・議員が反対したため不採択。「消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願」は、消費税増税を前提の請願であり、党議員団は反対しましたが、賛成多数で採択されました。

槌ヶ原保育園の園舎建物を岡山千鳥福祉会に来年4月より無償譲渡する議案と、同保育園の民営化に伴い市立保育所条例から同園の名称・位置を削除する議案については、民営化推進の議案であ

り反対しました。

松田・西淵議員は、一般質問に立ち、24日の本会議では、平成24年度各会計の決算質疑を行いました。また、西淵議員が保育園民営化に伴う「園舎の無償譲渡議案」と「消費税増税の中止を求める請願」の不採択に反対する討論を行いました。

可決された議案では、消防署荘内出張所に配備する高規格救急自動車等の指名競争入札により購入価格約3千万円の財産取得や、国保料・介護保険料等の延滞金の割合を引き下げる条例改正などが可決されました。



無料法律相談のご案内

日時 10月19日(土) 受付午後1時～2時まで

場所 文化センター (宇野) 1階第3会議室



弁護士が相談に応じます。交通事故、サラ金、相続、不動産、労働問題など、お気軽にご相談下さい。なお、当日は共産党市議団による市政・生活相談もおこなっています。

共催 日本共産党玉野市議団

市議 西淵大助 Tel33-0051

市議 松田達雄 Tel81-2329

議員定数削減議案に共産党市議団は反対！

県内他市や類似都市と比べ議員数は多くない

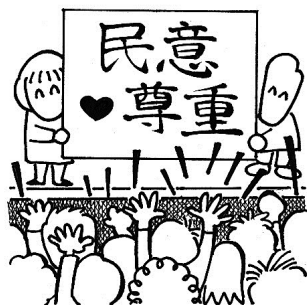
住民の9,666人の連署をもってなされた直接請求に基づき、市長から現行議員定数21人を6人削減し15人とする「議員定数条例の一部を改正する条例議案」が意見を付けて9月24日に追加提案され、これを受けて議会は会期延長し、26日午前10時から直接請求の代表者による意見陳述。市長・執行部への議員による議案質疑を行いました。

26日当日は定数削減を求める団体や、現行定数の維持と議会改革を求める「私たちの市政をつくろう みんなの会」の団体などから60名を超す傍聴人が参加され、40席の本会議傍聴席からあふれた市民が、理事者控室等のテレビ中継で議場内の発言を聴き入っていました。

本会議で質疑、反対討論

26日の本会議では、松田議員が定数削減の議案第66号に対して、市長等に9項目の質疑を行いました。※類似団体の議員定数、県内他市の議員定数に比べて本市の定数は多くないこと。※住民から直接負託された議会の権能は、議案の議決権、条例制定、執行機関の事務に関する検閲、検査権など、その権能は大きく重要な役割があることなどが明らかになりました。

最終日の27日には、松田議員が反対討論に立ち、「時流に乗って報酬削減や定数削減に邁進することは、議会の自殺行為であるし、結局、住民自治にとっての背信行為になる」との江藤俊昭氏（山梨学院大学教授）の言葉を紹介し、住民自治を発展させる立場から、定数削減に反対しました。他に浜 秋太郎議員が反対討論、小泉 薫議員と他1名が賛成討論に立ち、賛成2名、反対18名で同議案は否決されました。



「みんなの会」から、
萱・有信・前川氏の3名が
参考人として発言！

26日午後1時から開かれた議会運営委員会は傍聴人約40名が出席し、3階大会議室で開催。定数削減側から参考人3名が各5分間の発言後に、各議員から質問が出されました。「市議会議員定数条例の改正を求める市民の会」の名で作成されたピラは、「署名集めの際に同時に市民に配布した」との参考人から発言があり、その記事の「※玉野市は他の類似団体と比較して、いかに議員数が多いか一目瞭然です。」という見出し記事は、市民に誤解を与え、不正確で意図的な広報をしていることが問題視されました。定数削減派の意見は「市の財政難のもと、議員も自ら身を削り、経費節減のため15人に削減し、少数精鋭の議会を」という主張。しかし、少数＝精鋭ではなく、住民自治発展の立場と違い、「議員は少なくてもよい」とする、経費節減からの単純な一律削減論です。

「みんなの会」からは、提出された「住民の代表機関として議会機能を十分発揮するため、現行の議員定数を維持し…」の請願趣旨にそって、3人の参考人が発言しました。萱 栄次さんは、「玉野市議会基本条例」をもとに、「議員定数は議会の役割や機能を損なうことがないように定めるとあり、基本的には機能を高める方向での検討が求められる。」「議会費は市財政の1%未満」と発言。有信博史さんは、「定数削減は住民意思の適正な反映機能が弱まり、多様な住民の声や少数意見を排除することになりかねない。」と発言。前川 守さんは、「議会は民意の反映と行政チェックの役割があり、民主主義を推し進める崇高な役割がある」「県内他市の議員数の比較では、多い状況ではない」などの意見を述べられました。約2時間余の審議を行い、全会一致で定数削減議案を否決しました。